



えひめ

Contents

- **所長挨拶**
～災害に強い港湾・空港を目指して
- **現場だより**
 - 松山港で国際物流ターミナルの整備を実施しています
 - 平成24年度の主な事業の紹介
- **今年度の出来事を振り返って**





所長挨拶

災害に強い港湾・空港を目指して

昨年8月に松山港湾・空港整備事務所長に着任しました東平と申します。ご挨拶が遅れ申し訳ありません。また、広報誌の発行が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。

昨年の東日本大震災では、救援・復旧活動において、港湾は発生直後から緊急物資の搬入、復旧活動の拠点として大変重要な役割を果たしました。震災発生後、愛媛県の皆様におかれましても、今後起きる南海地震等の対策の重要性が高いことがより具体的に認識されていることを考えますと、愛媛県内の港湾、空港の防災・危機管理のあり方をしっかり検討していく必要があると思います。

県内の港湾を見ますと、松山港をはじめとする瀬戸内海側の港湾には、大きな津波被害は想定されませんが、地震の揺れや液状化現象によって構造物が倒壊することが予想されます。また、宇和島港、八幡浜港など宇和海沿岸は、ご承知のとおり大きな津波被害が予想されます。長い海岸線を有するその地理的条件から、県内の予想される被害が異なりますので、こうした状況をしっかり把握し、ハード面だけでなく、ソフト面も含めて具体的な地震・津波対策を検討していく必要があると考えております。また、津波被害が大きいと予想される太平洋側へのバックアップ拠点としても、愛媛県の港湾においては求められるのではないかと考えております。

現在、四国地方整備局においては、「四国の港湾における地震・津波検討会議」を立ち上げ、東日本大震災の被害を踏まえ、南海・東南海地震対策を検討しているところです。また、東京での中央防災会議においても、想定地震規模の見直しや、それに基づく対策の検討等が行われております。本年は、こうした検討結果をしっかり踏まえ、愛媛県、関係市町、港湾関係者等と連携し、上述のような具体的な地震・津波対策を取り組んでいきたいと考えております。

また、今回の広報誌では、当事務所の平成24年度事業概要を紹介しております。そのうち、松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業（水深13m）については、利用者の皆様から早期供用を求められています。松山港に限らず、こうした地域の皆様のご期待に応えるよう、港湾、空港の整備を進めて参りますので、引き続きご理解、ご支援の程よろしく申し上げます。



現場だより

◎松山港で国際物流ターミナルの整備を実施しています

松山港湾・空港整備事務所では、松山港の取扱貨物量の増加や船舶の大型化に対応するため松山港外港地区において水深13mの岸壁を備えた国際物流ターミナルの整備を進めています。水深13mの岸壁を整備することにより4万トン級の船舶の接岸が可能となり、海上輸送効率の向上、港湾機能の拡充が期待されます。

現在は、岸壁（-13m）や泊地（-13m）の施設整備を進めており、平成23年度は、泊地（-13m）の浚渫、岸壁（-13m）の上部コンクリート打設等の工事を実施しました。

浚渫工事では、施工区域の地盤に一部堅い岩盤があるため砕岩浚渫という方法で浚渫を行いました。砕岩浚渫は、グラブ浚渫船のクレーンで砕岩棒という大きな爪のような形をした錘を海底地盤に落下させて岩盤を砕いて浚渫する方法です。本工事で使用した砕岩棒は、長さ5.9m、重さ約50トンあり、砕いた岩砕はグラブバケットですくい上げた後、埋立用地の造成などに活用されています。

平成24年度も引き続き泊地（-13m）の浚渫工事を予定しており、安全な作業に努めてまいりますのでご協力をお願いいたします。





◎平成24年度の主な事業の紹介

◎港湾整備事業

利用船舶の大型化や取扱貨物量の増加に対応するため、昨年度に引き続き松山港外港地区において国際物流ターミナルの整備を進めています。24年度は、泊地（-13m）の浚渫工事等を実施します。



▲松山港外港地区

◎開発保全航路整備事業

瀬戸内海や宇和海にある海上交通の難所において航行する船舶の安全な輸送航路を確保するため愛媛県内5箇所の開発保全航路（鼻栗瀬戸・来島海峡・奥南・細木・船越）にて航路の整備・保全を行います。24年度は航路が十分な機能を果たしているかを確認する測量・調査等を実施します。



▲来島海峡航路

◎海洋環境整備事業

美しい瀬戸内海を守るため愛媛県沿岸の海域（約2,800km²）において海面に浮遊するごみや油の回収を行っています。当事務所所属の海面清掃兼油回収船「いしづち」が就航した昭和52年度から平成22年度までに回収したごみの量は10トントラック約3,850台分に相当します。24年度も引き続き、安全で美しい海を目指して海洋環境の整備を実施していきます。



▲いしづち

◎空港整備事業

松山空港は、年間の旅客数が約231万人（平成22年度）、就航路線は国内線6路線、国際線2路線を有する四国で最も利用されている空港です。

松山空港の誘導路は、改良整備から20年以上が経過し、経年劣化等による舗装のひび割れや轍掘れが生じています。当事務所では、航空機が安全に往来出来るよう引き続き松山空港の誘導路の舗装改良を実施します。



▲松山空港工事実施箇所

今年度の出来事を振り返って

リフレッシュ瀬戸内に参加しました

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の活動の一環で瀬戸内海沿岸の海浜を清掃する「リフレッシュ瀬戸内」が6月から8月の間、各地の海岸で行われました。

松山港湾・空港整備事務所からは、7月18日(月)に愛媛ブロックの拠点地である新居浜市阿島荷内海岸の清掃に地元ボランティアの方々と共に参加しました。

当日は、あいにく雨模様の中での活動となりましたが、多くの方が集まり熱心に清掃を行っていました。1時間ほどの作業でしたが、たくさんのごみが回収され、きれいな海辺を守ることの苦労を実感した1日となりました。



四国地方整備局長表彰及び松山港湾・空港整備事務所長表彰・感謝状の伝達を行いました。

四国地方整備局では、「海の日」（7月第3月曜日）にちなんで毎年7月に港湾・空港関係功労者、港湾関係建設功労者、海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動に対して局長表彰及び事務所長表彰・感謝状を贈呈しています。

港湾・空港関係功労者表彰は、港湾・空港等の振興発展に功労のある方に四国地方整備局長から贈られる表彰です。今年度は、松山港の利用促進等に貢献された松山港運協会の松本恒昭会長に表彰状が贈られました。

海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰は、港や海浜等の美化活動に貢献された方や団体に贈られるもので今年度は今治市岡村島の岡村港務所で長年に渡り美化活動に貢献されている「岡村さくら会」と伊予市森海岸で海浜清掃活動を行っている「伊予市立北山崎小学校PTA」に四国地方整備局長から表彰状が贈られました。また、新居浜市多喜浜校区海岸で海浜清掃活動を行っている「多喜浜公民館環境部」の方々には松山港湾・空港整備事務所長より感謝状が贈られました。



▲松山港運協会松本会長(左)へ局長表彰を伝達



▲「岡村さくら会」の皆さん



▲「多喜浜公民館環境部」への事務所長感謝状伝達

港湾関係建設功労者表彰は、四国地方整備局発注の工事・業務で成績や安全衛生管理等が優秀であった企業や技術者の方に贈られるもので今年度は下記の企業・技術者の方に局長・事務所長表彰が贈られました。

受賞者の皆様には感謝申し上げますと共にお祝い申し上げます。

港湾関係建設功労者表彰者（敬称略）

●局長表彰

【優良業務表彰】

受賞者：大和探査技術株式会社大阪支店
業務名：松山港外港地区泊地(-13m)潜水探査

【優秀建設技術者表彰（業務）】

受賞者：内田 一之
(大和探査技術株式会社大阪支店管理技術者)
業務名：松山港外港地区泊地(-13m)潜水探査

●事務所長表彰

【優秀建設技術者表彰（業務）】

受賞者：西村 壮介
(株式会社ニュージェック四国支店管理技術者)
業務名：三島川之江港金子地区整備効果検討業務

【優良工事表彰】

受賞者：五洋建設株式会社四国支店
工事名：松山港外港地区泊地(-13m)浚渫工事

【優秀建設技術者表彰（工事）】

受賞者：吉田 大吾
(五洋建設株式会社四国支店現場代理人)
工事名：松山港外港地区泊地(-13m)浚渫工事

受賞者：柴田 浩典
(東洋建設株式会社四国支店監理技術者)
工事名：三島川之江港金子地区防波堤(西)築造工事

【優良下請企業表彰】

受賞者：大新土木株式会社
工事名：松山港外港地区泊地(-13m)浚渫工事

【優良下請技術者表彰】

受賞者：赤瀬 安章(大新土木株式会社)
工事名：松山港外港地区泊地(-13m)浚渫工事

海からの視点で地域の魅力を再発見

～「中四国・瀬戸内クルージングサミットin新居浜」が開催されました～

瀬戸内海でマリナーを有する自治体が集まり海を活かした地域振興などを話し合う「中四国・瀬戸内クルージングサミット」が、7月3日(日)新居浜市の新居浜マリナーで開催されました。

はじめにアテネ五輪ビーチバレー選手で日本ビーチ文化振興協会ビーチライフコーディネーターの徳野涼子さんより「中四国・瀬戸内発の新たなクルーズ文化の創造」をテーマに基調講演が行われました。講演の中で徳野さんは、日本では欧米などに比べてビーチの魅力を活かす余地が多く残されていることやビーチでの環境教育、東日本大震災でのクルーズ船の支援活動などを紹介していただきました。

続いて新居浜市・福山市・瀬戸内市・高松市・三豊市の各市長によるクルージングサミットが行われ、各市のクルージングツアーなどの取り組みの紹介や災害時における自治体の相互連携の必要性について意見交換が行われました。

最後にサミット参加の5市長より、地域特性を活かした海辺の文化を創造し、新たなクルーズ文化を発信することや船を活用した新たな観光ルートの提示などを盛り込んだ共同宣言が策定されました。



▲徳野涼子さんによる基調講演



▲参加5市長による共同宣言

土木学会平成23年度全国大会が愛媛大学で開催されました

「今一度、土木の原点に～誇れる日本、住みよいまちへ～」を大会テーマに9月7日(木)から9日(金)まで愛媛大学城北キャンパスをメイン会場に土木学会平成23年度全国大会が開催されました。

土木学会全国大会は、国内外の産官学の各分野で活動する土木研究者・技術者が集まり、各々の研究分野における研究成果について発表や意見交換、講演等を実施するもので66回目となる今年度の大会は松山市で開催されました。



今年度の大会では、3月の東日本大震災を受けて東日本大震災シンポジウムが松山市民会館で開催され、東北地方整備局長より震災発生時の初動対応についての報告や山本卓朗土木学会会長による基調講演、パネルディスカッションが行われました。

このシンポジウムには、土木学会関係者のほかに一般の方々も数多く聴講に訪れ、東日本大震災への市民の関心の高さが改めて認識されました。

この他に、パネル展示・災害記録映画の上映、松山空港での資料展示等が行われ、参加者は、3日間で延べ21,258人に上りました。

海面清掃兼油回収船「いしづち」の見学会を開催

10月27日(木)、新居浜市立多喜浜小学校の5年生29名を対象に当事務所所属の海面清掃兼油回収船「いしづち」の見学会を開催しました。

この見学会は、新居浜港務局が主催した「みなと見学会」の一環として行われたもので、はじめに多喜浜小学校で港の役割や海洋環境整備事業について説明を行った後、新居浜港黒島岸壁へ移動し、停泊中の「いしづち」の船内を見学しました。「いしづち」には、大きな浮遊ごみを回収するためのクレーンやごみを収納するコンテナ、油回収装置等、特殊な機械が備え付けられており、児童の皆さんは、これらの機械や操舵室の機器を大変興味深く見学していました。

限られた時間の中での見学会でしたが、児童の皆さんにも美しい海を守るための当事務所の活動を知って頂くことが出来た見学会でした。



第3回みなとオアシス全国協議会総会が神戸市で開催されました



▲溝畑宏観光庁長官による講演

全国のみなとオアシス関係者が集まって活動の報告や意見交換を行う「みなとオアシス全国協議会総会」が11月11日(金)、12日(土)に神戸市の「神戸波止場町TEN×TEN」で開催されました。

今回の総会では「マリンポートツーリズム提唱」全国展開に向けて”をテーマに八幡浜港みなとオアシスなど全国のオアシス関係者による活発な意見交換が行われました。

また、溝畑宏観光庁長官による講演が行われ、みなとが持つ観光資源としての可能性や地域の魅力を上げていくための方法等について貴重な意見を頂きました。最後に八幡浜市

で開催された前回の総会 (H22.11.13) で八幡浜港みなとオアシスが企画した「港弁」の第2弾となる神戸港版の「港弁」が発表されました。

神戸港の「港弁」は、みなとオアシスKOBEの関係者が地元駅弁製造業者と共に開発したもので神戸も舞台となっている今年の大河ドラマ平清盛をモチーフに、特産のタコを使った「平清盛たこしゃぶちらし」で、試作品が参加者に振る舞われました。



▲神戸港版「港弁」

「瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会」設立20周年記念行事が開催されました

瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会設立20周年記念行事が11月18日(金)、広島県大竹市で開催されました。

記念行事では、第一部で井上欣三神戸大学名誉教授から海的路ネットワークを活用した災害対応力強化に関する講演と湯崎英彦広島県知事から地域活性化に向けた広島県の取組みとして瀬戸内 海の道構想について特別講演が行われました。続く第二部では、上島町長をはじめ瀬戸内・海的路ネットワーク会員13市町の首長と国土交通省関係者による瀬戸内海首長サミットが開催され、瀬戸内・海的路ネットワーク会員が連携した防災ネットワーク機能の強化等について活発な意見交換が行われました。



▲瀬戸内海首長サミット

出前講座・現場見学会のご案内

四国地方整備局では、私たちが取り組んでいる事業や施策について、より理解を深めてもらうため、職員を派遣する「出前講座」や皆様に現場へ来て頂く「現場見学会」を受け付けています。

出前講座では、意見交換も交えながらニーズや生の声を聞かせて頂き、今後の国土交通行政に反映させていきたいと考えています。詳しい内容は、以下のホームページをご覧ください。

出前講座： <http://www.skr.mlit.go.jp/kaisai/demae/demae.html>

現場見学会： <http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/spotguide/top.html>

— 事務所位置図 —



松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058
松山市海岸通2426-1
TEL 089-951-0161 (代表)
FAX 089-946-8010

